

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <https://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,023	7.4	265	△3.8	259	△4.1	169	△0.9
2023年9月期第1四半期	3,746	—	276	—	270	—	171	—

(注)包括利益 2024年9月期第1四半期 167百万円 (△0.2%) 2023年9月期第1四半期 167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	9.27	—
2023年9月期第1四半期	9.24	—

(注)2022年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第1四半期	8,558	3,051	34.6	161.51
2023年9月期	9,102	3,053	32.7	162.36

(参考)自己資本 2024年9月期第1四半期 2,957百万円 2023年9月期 2,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2024年9月期の配当予想については未定です。

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	12.9	1,300	23.5	1,287	24.0	850	61.9	46.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	19,181,600 株	2023年9月期	19,181,600 株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	869,025 株	2023年9月期	869,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	18,312,575 株	2023年9月期1Q	18,551,975 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2024年9月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、一部に足踏みもみられるものの緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっているほか、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響には十分注意する必要があります。

住宅業界におきましては、国内の新設住宅着工戸数が減少傾向にある中、資材価格の高騰や人件費の上昇を原因とする建築コストの増加など、引き続き厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループは当連結会計年度を成長加速期の最終年度として、積極的な投資を行い、長期ビジョン達成に向けた道筋を作ることを目指し、国内事業の収益基盤強化、海外事業の成長拡大、新事業の創造に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,023百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益265百万円（前年同期比3.8%減）、経常利益259百万円（前年同期比4.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益169百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 住設・建材EC事業

住設・建材EC事業におきましては、価格改定による購入単価の上昇と既存顧客のリピート購入増加等により前年同期比で増収増益となりました。商品カテゴリ別では、引き続き洗面カテゴリが順調に伸びており、中でも、洗面空間をすっきり見せるスリムミラーボックス《スミス》が発売開始から約2年で全商品の売上トップ3に入るなど順調に売上を伸ばしているほか、高級ホテルのようなラグジュアリーな空間を演出する洗面カウンター《フィオレット》も引き続きご好評をいただいております。また、当社オリジナル商品の開発者インタビュー記事を作成するなどコンテンツの充実に努めており、新規顧客の獲得及びロイヤルカスタマーの育成を図っております。

以上の結果、売上高3,621百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益439百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

② 住宅事業

住宅事業におきましては、子会社のベストブライト社において経営体制の刷新を行い原価管理の徹底を図ることで利益率の改善が実現しております。一方、加盟工務店と一体となって自由設計でデザイン性の高い住宅設計を可能としていくサービス《ASOLIE》では、加盟工務店が当社の提供するデザインコードを利用して建築した「《ASOLIE》の家」の建築が進み、加盟工務店へ向けた住設・建材の売上も増加しております。

以上の結果、売上高407百万円（前年同期比28.2%増）、セグメント損失14百万円（前年同四半期はセグメント損失30百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ544百万円減少し、8,558百万円となりました。その主な要因は、売掛金の増加13百万円、棚卸資産の増加7百万円があった一方で、現金及び預金の減少443百万円、関係会社長期貸付金の減少133百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ542百万円減少し、5,506百万円となりました。その主な要因は、前受金の増加156百万円があった一方で、短期借入金の減少256百万円、未払法人税等の減少252百万円、賞与引当金の減少94百万円、買掛金の減少80百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、3,051百万円となりました。その主な要因は、新株予約権の増加13百万円があった一方で、利益剰余金の減少13百万円、その他有価証券評価差額金の減少2百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,358,971	1,915,396
売掛金	966,337	980,337
棚卸資産	2,844,672	2,852,582
その他	207,966	207,335
貸倒引当金	△21,203	△21,203
流動資産合計	6,356,744	5,934,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	993,323	971,894
土地	93,309	93,309
建設仮勘定	26,380	26,148
その他（純額）	82,716	78,130
有形固定資産合計	1,195,730	1,169,483
無形固定資産		
その他	81,646	85,546
無形固定資産合計	81,646	85,546
投資その他の資産		
投資有価証券	300,877	297,255
関係会社株式	905	905
関係会社長期貸付金	133,000	—
長期前払費用	599,520	582,864
差入保証金	456,428	456,445
繰延税金資産	90,432	11,139
その他	20,359	20,367
貸倒引当金	△133,000	—
投資その他の資産合計	1,468,525	1,368,978
固定資産合計	2,745,902	2,624,008
資産合計	9,102,647	8,558,455

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,028,684	948,124
前受金	326,641	483,489
短期借入金	2,631,400	2,375,300
1年内返済予定の長期借入金	171,188	167,866
未払法人税等	274,102	21,174
契約負債	26,337	25,446
賞与引当金	151,724	56,941
その他	533,303	564,329
流動負債合計	5,143,382	4,642,670
固定負債		
長期借入金	545,116	502,696
資産除去債務	354,010	354,668
その他	6,410	6,455
固定負債合計	905,536	863,819
負債合計	6,048,919	5,506,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,481	805,481
資本剰余金	755,481	755,481
利益剰余金	1,770,499	1,757,207
自己株式	△374,494	△374,494
株主資本合計	2,956,967	2,943,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,248	13,930
その他の包括利益累計額合計	16,248	13,930
新株予約権	80,511	94,361
純資産合計	3,053,727	3,051,966
負債純資産合計	9,102,647	8,558,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,746,883	4,023,408
売上原価	2,435,052	2,582,370
売上総利益	1,311,831	1,441,037
販売費及び一般管理費	1,035,751	1,175,500
営業利益	276,079	265,537
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
助成金収入	250	—
補助金収入	380	372
その他	34	175
営業外収益合計	665	550
営業外費用		
支払利息	4,386	5,240
支払手数料	557	555
その他	1,073	776
営業外費用合計	6,017	6,572
経常利益	270,727	259,514
特別利益		
固定資産売却益	—	213
特別利益合計	—	213
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社清算損	—	2,480
特別損失合計	0	2,480
税金等調整前四半期純利益	270,727	257,247
法人税、住民税及び事業税	60,183	7,100
法人税等調整額	39,182	80,314
法人税等合計	99,366	87,414
四半期純利益	171,361	169,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,361	169,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	171,361	169,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,471	△2,318
その他の包括利益合計	△3,471	△2,318
四半期包括利益	167,890	167,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,890	167,514
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,429,241	306,649	3,735,890	—	3,735,890
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	10,016	10,016	—	10,016
顧客との契約から生じる収益	3,429,241	316,666	3,745,907	—	3,745,907
その他の収益	—	975	975	—	975
外部顧客への売上高	3,429,241	317,642	3,746,883	—	3,746,883
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,236	—	1,236	△1,236	—
計	3,430,478	317,642	3,748,120	△1,236	3,746,883
セグメント利益又は損失 (△)	435,325	△30,822	404,503	△128,424	276,079

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△128,424千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,618,627	384,592	4,003,220	—	4,003,220
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	19,212	19,212	—	19,212
顧客との契約から生じる収益	3,618,627	403,805	4,022,432	—	4,022,432
その他の収益	—	975	975	—	975
外部顧客への売上高	3,618,627	404,781	4,023,408	—	4,023,408
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,027	2,297	5,324	△5,324	—
計	3,621,654	407,078	4,028,732	△5,324	4,023,408
セグメント利益又は損失（△）	439,844	△14,428	425,415	△159,877	265,537

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△159,877千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。